

藤波こども園

園長だより

No. 73

令和3年7月20日

文責 竹原 篤



FUJINAMI
KODOMOEN



旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

藤波こども園では本日1学期の終業式を無事に迎えることができました。今年の1学期も昨年と同様に新型コロナウイルス感染症感染防止対策をとりながらも、子どもたちの思いに寄り添い少しずつできることに取り組んできました。前号にも書きましたが、保護者の皆様には毎日の健康観察票の記入をはじめ多くの感染防止対策にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

さて、この1学期を振り返ってみると、子どもたちは心も身体も大きく成長しました。



日々の園生活の中で見られた子どもたちの様子です。朝、仲良く手をつないで登園してくる様子。登園後、異年齢で月組さんや星組さんが三輪車を押したり、手をつないで園庭に連れていったりと花組さんに優しく関わってくれています。玄関では花組さんになったばかりのときに靴を履かせたり、抱っこしたり、雲梯では励ましの声かけをしてくれたり縦割り保育の成果が自然な姿で見られます。このような姿は誰かに言われてするのではなく、子どもたちはお兄ちゃんやお姉ちゃんのかっこよい姿をモデルに自分で判断して、自らの思いで話したり動いたりできるように育ってきています。



職員室にいると！！

職員室で仕事をしていると、子どもたちがいろいろなことを知らせに来てくれます「ハンカチ貸してください」・「ペットボトルください。カエルいれるから、穴開けてください」・「テープください」・「〇〇ちゃんがケガをしたから、バンソコください」・「〇〇ちゃんが頭打ったから冷やすものください」・「お部屋に蜂みたいなやつが入ってきたからとってください」・「〇〇さんがともだちと当たって痛がっているから氷ください」等。

園庭で捕まえた虫を見せに來たり、必要な物を自分の分だけでなくお友だちの分までもらいに來たりします。お友だちのケガを知らせに來ることが多く、そげが刺さって痛がっている子の手を引いてくることもありました。

4月当初子どもたちは自分のことで精一杯でしたが、今では自分のことをしっかり伝えることができるようになりました。また、自分の思いやその場の状況から理由を言える子も増えてきました。これからも子どもたちの小さな成長を見逃さず、いっぱい褒めていきたいと考えています。



園庭に作業をしていると！！

草取りをしていると毎日子どもたちが寄ってきて、草を抜いてくれたり草をゴミ袋に入れたりしてくれました。土だらけの腕を見て「大丈夫 草取ったるか 手伝ったるか」。顔の汗を見て「大丈夫 お茶飲む」と言って、自分の水筒を差し出してくれた。降園の子どもたちが近づいてきて「がんばりや さようなら」と言ってくれました。思いやりのある優しい声かけをしてくれる子どもが多くとても嬉しく思いました。

🌸ありがとうございます🌸

【いただきました】

- | | | |
|--------|--------|--------------|
| ①日本製花火 | 藤波学園理事 | 川越清司様 |
| ②花の苗 | 青柳小学校 | 栽培ボランティア委員会様 |
| ③ノート | 旅助 | 北川 宏様 |

